

施策評価シート

施策等名称	自然の恵みを大切に受け継ぐまち ー良好な自然環境の確保ー	体系番号	0301010101
		主管課	環境課

1 施策基本情報

現状と課題	私たちの生活や事業活動は、地下水かん養や洪水調節、生物多様性保全、景観形成、資源供給等といったさまざまな自然の持つ環境保全機能に支えられている。そのため、土地開発や河川改修などの人為的行為が自然環境へ及ぼす影響を回避あるいは低減し、自然の持つ機能が損なわれないよう十分な配慮が必要とされている。茅野市の良好な自然環境を確保するために、近年市内での繁茂が確認されているアレチウリ等の特定外来植物の防除や水資源の保全、そして里山をはじめとする森林の保全に努めることが求められている。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	多様な動植物が生息・生育する環境や、良質な里山、農地、水資源を保全し、人と自然が共生する健全な地域生態系がもたらす自然の恵みを将来にわたって享受することができるまちを目指します。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	茅野市の環境に満足している市民の割合	茅野市の環境に満足している市民の割合(市民アンケート)(%)	52.20	56.00
②	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数(人)	145.00	160.00	175.00
③	里山づくりイベント参加人数	市民の森、永明寺山ふれあいの森で実施するイベントへの参加人数(人)	195.00	205.00	215.00

施策の柱 1	名称	自然と人が共生する地域生態系の保全	主管課	環境課			
	詳細	貴重な生物、多様な生物が生息・生育できる優れた自然や身近な自然を保全する。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数(人)	145.00	160.00 175.00	1 環境保全対策事業	実施
	2	グリーンパートナー年間活動延べ日数	グリーンパートナー年間活動延べ日数(日)	202.00	210.00 220.00	3	
	3				205.00 215.00	5	
	基本政策間連携						

施策の体系	施策の柱 2	名称	健全な自然環境に寄与する森林、農地の保全	主管課	環境課		
		詳細	森林や農地を保護・育成し、緑が持つ自然環境保全機能を保全し、活用する。				
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	里山づくりイベント参加人数	市民の森、永明寺山ふれあいの森で実施するイベントへの参加人数(人)	195.00	205.00 215.00	1 里山づくり支援事業	実施
	2					3	
	3					5	
	基本政策間連携						

施策の柱 3	名称	豊富で良質な水資源の保全	主管課	環境課			
		詳細	健全な水循環の促進、豊かな水資源の保全と、その有効活用を図る。				
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	地下水賦存量調査	湧水量調査及び地下水位調査	実施	実施 実施	1 水資源・水環境保全対策事業	実施
	2					2	
	3					3	
						4	
						5	
						6	
	基本政策間連携						

施策等名称	自然の恵みを大切に受け継ぐまち ー良好な自然環境の確保ー	体系番号	0301010101
		主管課	環境課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	茅野市の環境に満足している市民の割合	52.20	52.20	52.20			
1		56.00	93.21	93.21	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	未実施のため計画策定時と同一値。中間見直しの際にアンケート実施する予定。					
	2019年度	未実施のため計画策定時と同一値。中間見直しの際にアンケート実施する予定。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数	145	182	225			
2		160	113.75	140.63	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	外来生物駆除作業への協力呼びかけによる参加者の増。					
	2019年度	外来生物駆除作業への協力呼びかけによる参加者の増。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	里山づくりイベント参加人数	195	205	199			
3		205	100.00	97.07	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	小学校との連携を強化できたことによる増。					
	2019年度	雨天順延による参加者の微減。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数	145	182	225			
1		160	113.75	140.63	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	外来生物駆除作業への協力呼びかけによる参加者の増。					
	2019年度	外来生物駆除作業への協力呼びかけによる参加者の増。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	グリーンパートナー年間活動延べ日数	202	210	218			
2		210	100.00	103.81	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	会員個人による活動、合同グリーンパトロールを計画どおりに実施できた。					
	2019年度	会員個人による活動、合同グリーンパトロールを計画どおりに実施できた。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱2	里山づくりイベント参加人数	195	205	199			
1		205	100.00	97.07	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	小学校との連携を強化できたことによる増。					
	2019年度	雨天順延による参加者の微減。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	自然の恵みを大切に受け継ぐまち ー良好な自然環境の確保ー	体系番号	0301010101
		所管課	環境課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱3 1	地下水賦存量調査	実施	実施	実施			
		実施	達成	達成	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
変動要因等	2018年度	計画どおりに実施できた。					
	2019年度	計画どおりに実施できた。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

施策等名称	自然の恵みを大切に受け継ぐまち ー良好な自然環境の確保ー	体系番号	0301010101
		主管課	環境課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)		
投資額	事業費(円)	6,248,903		6,489,054	1.04	6,559,000	1.01					
	うち一財(円)	6,176,849		6,463,919	1.05	6,486,000	1.00					
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)											
進捗評価		順調		順調								
総合評価	主な取組内容や成果	施策の柱1~2の指標は自然の恵みを大切に受け継いでいくためのそれぞれの施策の担い手となりうる市民の数だと考えており、関係機関との連携を密にしたことで概ね目標を達成できた。		施策の柱1~2の指標は自然の恵みを大切に受け継いでいくためのそれぞれの施策の担い手となりうる市民の数だと考えており、関係機関との連携を密にしたことで概ね目標を達成できた。								
	課題	人口減に向かう社会において、さまざまな分野において市民団体の中核世代が高齢化している。次世代の育成、引継が大きな課題である。		人口減に向かう社会において、さまざまな分野において市民団体の中核世代が高齢化している。次世代の育成、引継が大きな課題である。								
改革・改善	改革・改善内容	市民団体と担い手確保に向けた取組手法を検討し、新たな担い手を確保する。		市民団体と担い手確保に向けた取組手法を検討し、新たな担い手を確保する。								
	施策の柱等の重点化	重点化する 施策の柱	2		2							
		重点 事務事業	1		1							
	理由	自然の恵みを大切に引き継いでいくには、自然環境の適切な維持管理が欠かせない。里山は市民生活に隣接しており、良好な自然環境を確保する目的に合致するため。		自然の恵みを大切に引き継いでいくには、自然環境の適切な維持管理が欠かせない。里山は市民生活に隣接しており、良好な自然環境を確保する目的に合致するため。								

作成担当者	朝倉健太	朝倉健太			
最終評価責任者	堀内俊彦	岩島善俊			
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日			